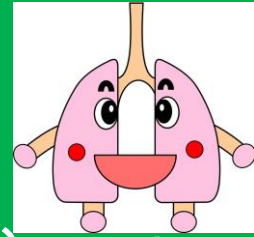


多摩府中保健所感染症週報

令和3年第51週（12月20日～12月26日）



肺えもん

今週の傾向

★ 感染性胃腸炎の定点医療機関あたり報告数は増加が続いています。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

最新の情報は、以下のページをご覧ください。

◆ 東京都ホームページ

➢ 「東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト」

<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>

◆ 厚生労働省ホームページ

➢ 「国内の発生状況など」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html>

インフルエンザと同様に、マスク着用などの咳エチケット、手洗いやアルコール消毒などの予防対策を行いましょう。感染対策等の詳細は当保健所ホームページをご覧ください。

◆ 多摩府中保健所ホームページ

➢ 「新型コロナウイルス感染症に関すること」

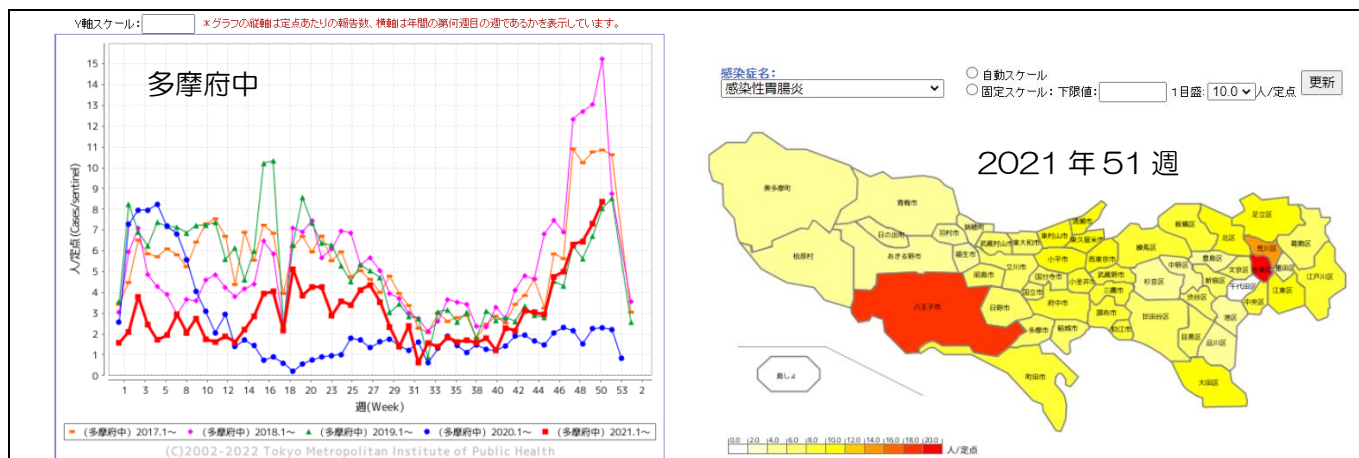
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/tamafuchu/shingata_corona/index.html

管内の集団感染の状況

施設	疾患	今週の発生件数
学校・教育機関	-	-
児童福祉施設	手足口病	1件
高齢者福祉施設	-	-
障害者福祉施設	-	-
医療機関	-	-

★注目すべき感染症★

感染性胃腸炎



出典：東京都感染症情報センター 「WEB 感染症発生動向調査」

<https://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/epimenu.do>

ノロウイルス対応 排泄物・おう吐物の処理

- ① 汚染場所に関係者以外の人近づかないようにします。
- ② 処理をする人は使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用します。



カーペット等は色に変色する場合があります。

- ⑤ おう吐物が付着していた床とその周囲を、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませた布やペーパータオル等で覆うか、浸すように拭きます。



次亜塩素酸ナトリウムは鉄などの金属を腐食するので、拭き取って10分程度たったら水拭きします。

- ③ おう吐物は使い捨ての布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、拭き取り面を折り込みながら静かに拭き取ります。



同一面でごすると汚染を拡げるので注意してください。

- ⑥ 使用した着衣は廃棄が望ましいですが、消毒する場合は下記の手順で行います。

- ① 付着したおう吐物を取り除く（手袋着用）。
- ② 熱湯につけるか、0.02%の次亜塩素酸ナトリウムに30～60分つける（P.4を参照）。
- ③ 他のものと別に洗濯機等で洗濯する。



- ④ 使用した使い捨ての布やペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れ処分します。



ビニール袋に0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度に入れ消毒しましょう。

- ⑦ 手袋は、付着したおう吐物が飛び散らないよう、表面を包み込むように裏返してはずします。手袋は、使った布やペーパータオル等と同じように処分します。



処理後は手袋をはずして手洗いをします。

※その他の留意点

- 吐物処理後は、調理や配膳などに従事しない。
- 可能な場合は、吐物処理後にシャワーを浴びるのが望ましい。

〈発生時対応の留意点〉

アルコールは無効です。吐物や糞便はエアロゾル化して感染を拡大させる可能性があるため、注意深く除去します。

ノロウイルスは感染後2日から5日に便からのウイルス排泄が最大となるため、介護員や調理員などは症状回復後も2日から3日間は介護及び調理に従事することを避けることが望ましいです。

感染後平均4週間は便からウイルスが検出され、手洗いの励行は継続する必要があります。

参考文献

東京都感染症マニュアル 2018

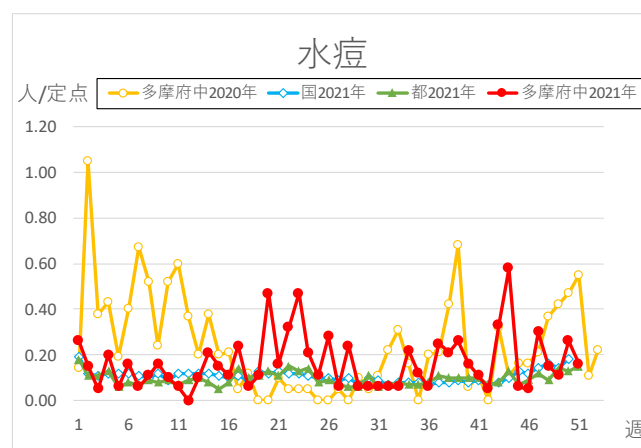
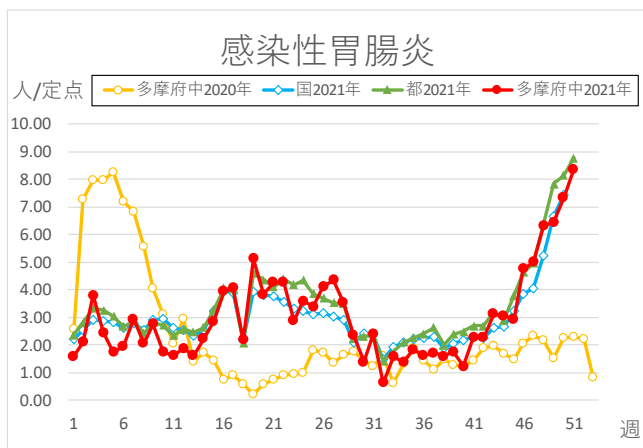
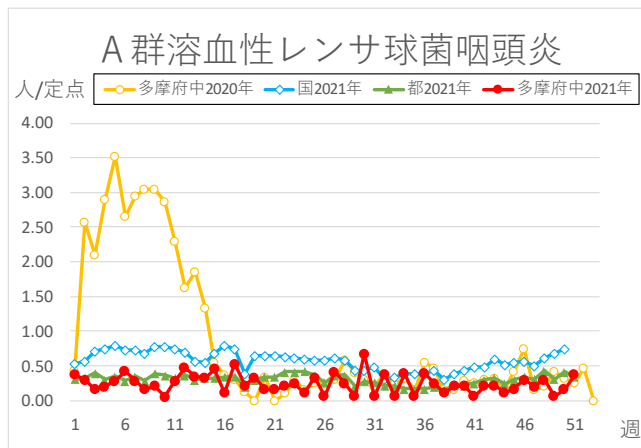
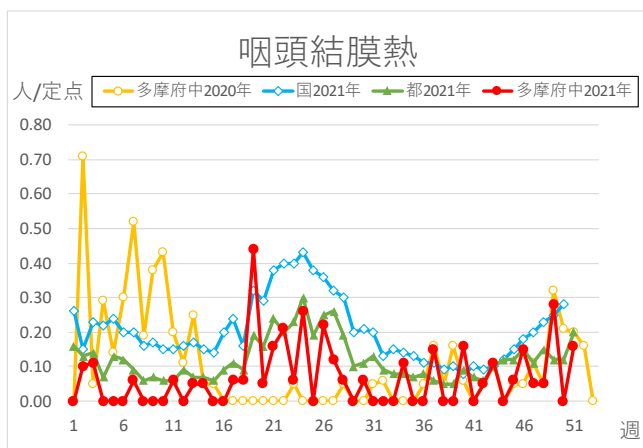
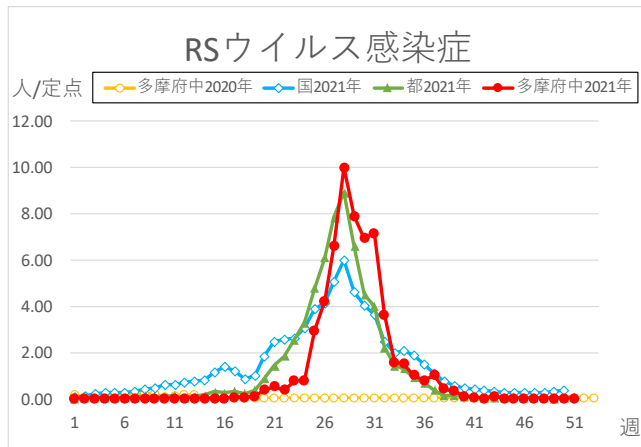
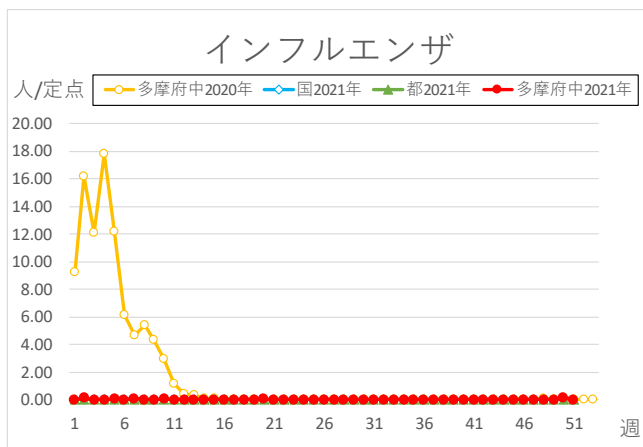
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kansen/kansen-manual_2018.html

出典：東京都福祉保健局 ノロウイルス対応標準マニュアルダイジェスト版

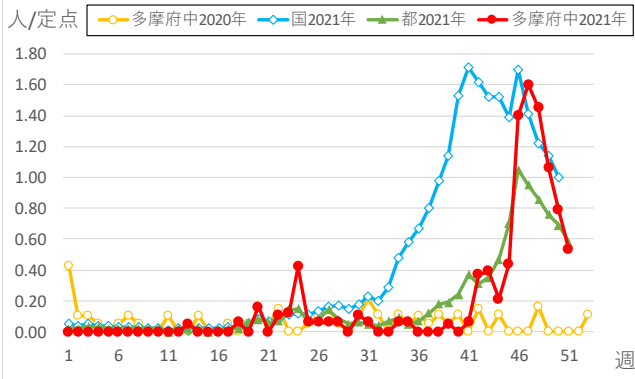
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/noro/manual.html>

定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

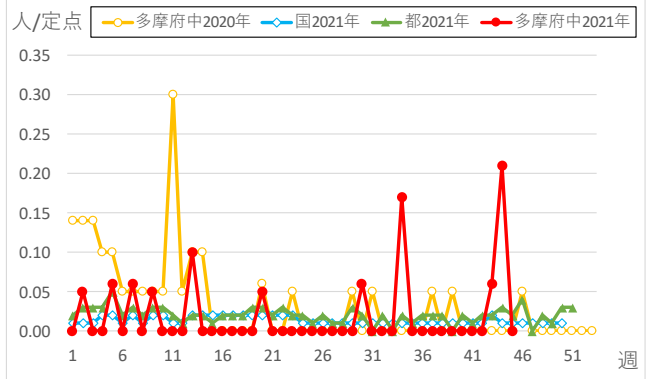
・週報告の定点把握対象の感染症について、定点あたりの患者報告数推移のグラフを掲載しています。



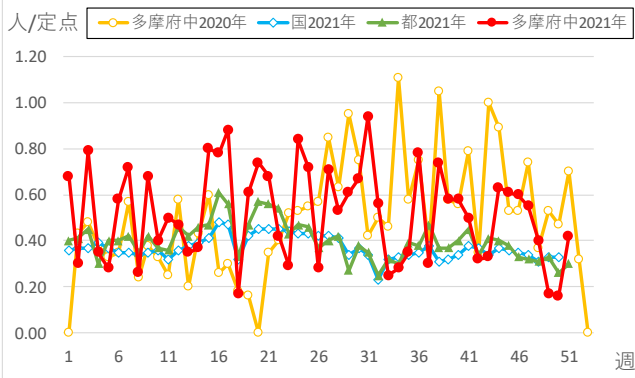
手足口病



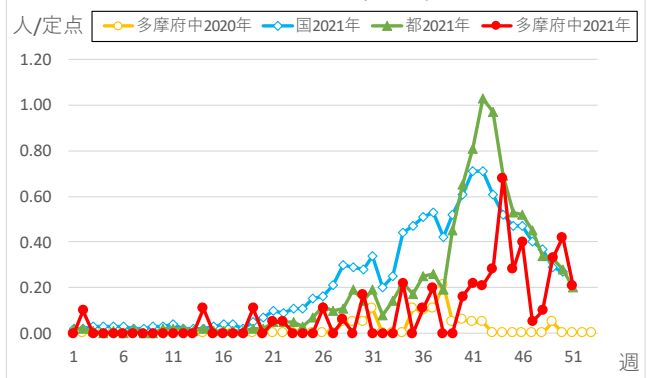
伝染性紅斑



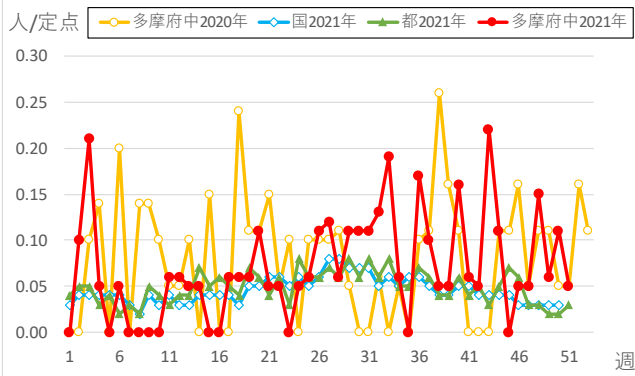
突発性発しん



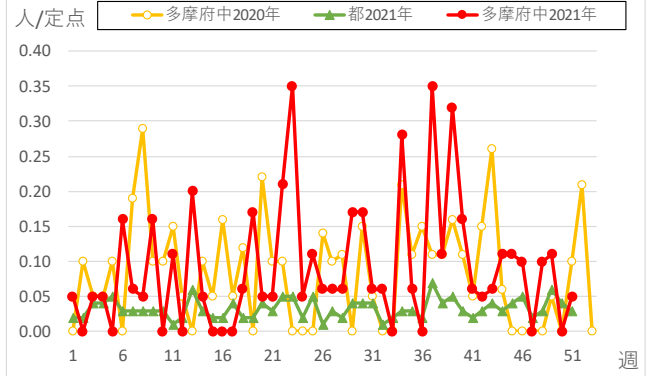
ヘルパンギーナ



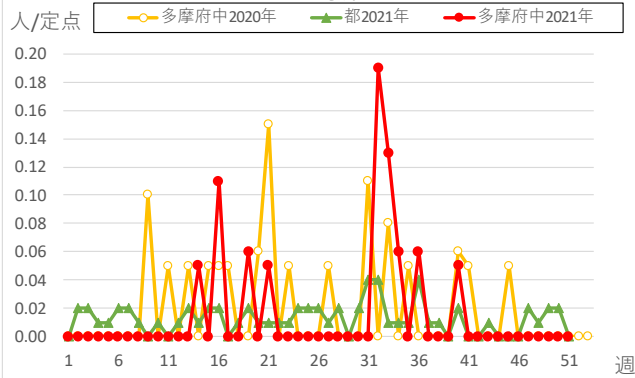
流行性耳下腺炎



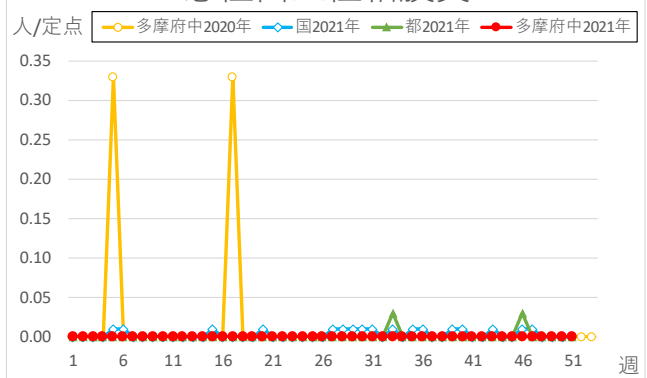
不明発しん症

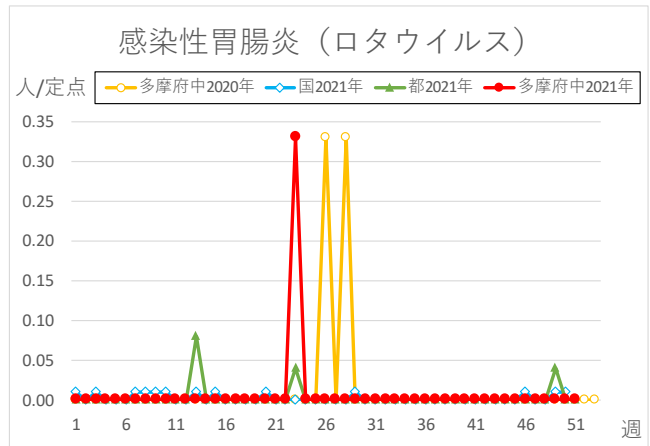
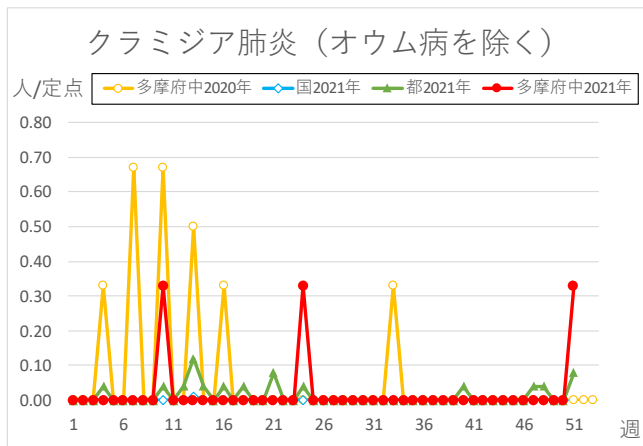
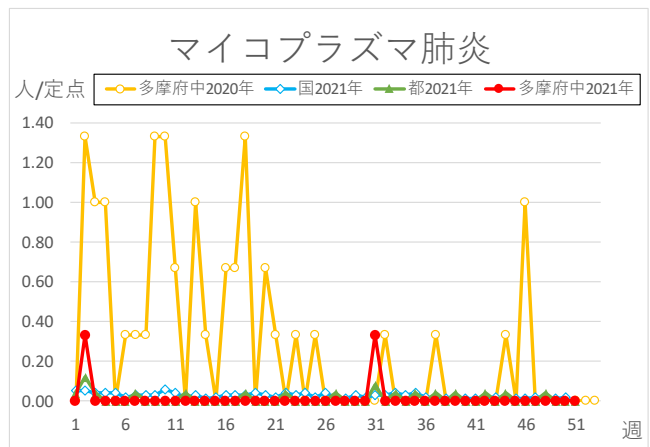
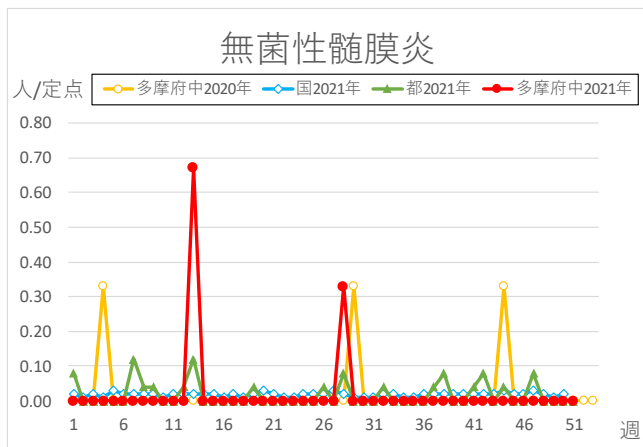
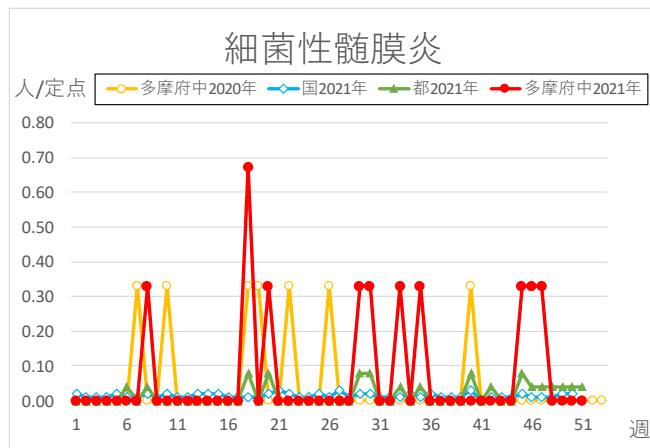
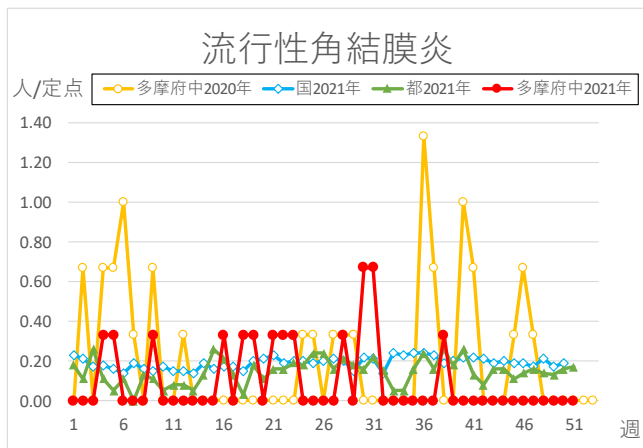


川崎病



急性出血性結膜炎





※本グラフは感染症の発生動向の概要をお伝えするため、下の出典の最新週のデータを追加して作成しています。
過去のデータの修正は反映されておりませんので、より正確なデータについては出典元をご覧ください。

<出典>

- 東京都、多摩府中のデータ：東京都感染症情報センター <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/> より WEB 感染症発生動向調査
- 国のデータ：国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

多摩府中保健所 保健対策課
感染症対策担当

Tel : 042 (362) 2334 (代表)

検索 多摩府中 感染症週報